

学力向上に効果のある取組事例

由布市立由布院小学校

⑪校内研修などによる授業改善

取組の具体①

☆生徒指導の視点を生かした授業づくりの工夫

①自己決定の場の保障と教師の支援の工夫

・「決めたくない」「考えたくない」工夫

題材選定

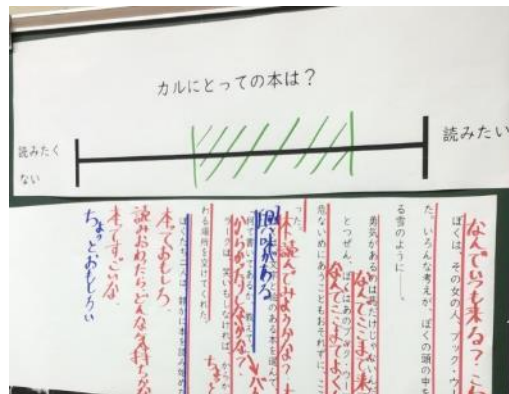
導入工夫

課題吟味

「自分の課題」を決める。課題をつくる工夫。



ズレの可視化。



②自己存在感・共感的人間関係を大切にしたい授業の工夫

・もてた「意見」「考え」「気づき」を授業の中で活かしていく仕組み。

・「対話」で友だちの考えにふれて、自分の考えを深めていく。

考えが可視化できる工夫、考えの「ズレ」の利用。

取組の具体②

☆「伝えたい」「聞きたい」という表現意欲を活用し、主体的な学びを育む授業

①つけたい資質・能力にあった「めあて」の工夫・「ふりかえり」の場の工夫を保障した授業づくり

○授業者は、毎時間、つけたい資質・能力を明確にした「めあて」の設定を工夫し、改善した「ふりかえりの観点」を活用し、内容を深める工夫をする。

・「ふりかえり」での子どもの変容を学年部で話し合い、「メタ認知」「学習調整力」につながる手立てを工夫する。

②意欲的な「反応」「やりとり」のあるペア活動やグループ活動を生かし、考えを深める授業づくり

○授業者は、毎日一度は目的を持った「ペア・グループ活動」を取り入れ、子どもの主体性・表現力を育む交流の場や、考えの深まりを実感できる手立ての工夫を行い、その取り組み状況や成果について学年部で月1回話し合う。

・「目的」を持った子どもが主体的になれる活動として取り入れ、深まりや広がり子どもが実感できるように、記録の仕方や交流の方法を工夫して取り組む。

・友だちの考え、自分の考えを使う場面を工夫し、交流の価値を高める。

「目的」の学習過程におけるペア活動(目的別)	
学習目的	学習過程
導入活動	全員の関与や理解に対しての工夫、学習の意欲的な参加を促す活動
展開活動	①自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。 ②自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。 ③自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。
評価活動	④自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。 ⑤自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。
振り返り活動	⑥自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。 ⑦自分の考えをペアに伝え、相手の考えを聞き取り合う活動。

